

平成 26 年度 新任助教研究助成 採択者

〔研究者〕
 <p>氏名 川島 範久 (かわしま のりひさ) 所属 建築学専攻 職名 助教</p>
〔タイトル〕
日本における環境配慮建築普及に向けた環境政策と設計支援ツールに関する研究 — 設計プロセスに与える影響に着目して —
〔研究の概要〕
<p>建築主は環境配慮建築を実現することで、安全で高性能な建物を得られるだけでなく、補助金や融資・税制優遇を受けたり、企業のブランディングにも使用することができる。「環境政策」は、そのようなインセンティブ向上につながると考えられており、設計者はそれらの情報を建築主に伝え、要望を受け、設計を通して実現させる、『媒介者』の役割を果たしている。また、それをサポートするものとして、設計ガイドラインや環境シミュレーションといった「設計支援ツール」があり、これらが設計する際のハードル低減に寄与する。文献調査や関係者へのヒアリング等を通し、環境配慮建築を普及するための「環境政策」と「設計支援ツール」の現状を体系化した上で、実際の設計プロセスに対してどのように影響を与えているかを、海外との比較を通して明らかにする。</p>
〔オリジナリティ〕
<p>環境政策に関する研究はこれまでもなされてきているが、『媒介者』としての設計者に着目し、実際の設計プロセスに与えている影響を分析がしているものはない。設計支援ツールに関しても、ツール開発の研究はこれまでも多くなされてきているが、それらを体系化した上で実際の設計プロセスでどのように機能しているかを分析しているものはない。</p>
〔期待される成果〕
<p>現在の環境政策が抱える問題点を明らかにした上で、設計プロセスに有効に活かされるために必要と思われる改善すべき点を、海外との比較を通して明らかにする。また、設計支援ツールに関しても、改善が必要な点を明らかにすると同時に、実務におけるツールの活用される方を、海外事例を含めて体系化することで、設計プロセスにおいて有効に利用されるようにする。以上により、日本における環境配慮建築の普及を促進する一助となることを期待する。</p>